

# 「(仮称)子どもにやさしいまち条例」を みんなでつくっています!

問 子ども総務課 ☎724・2876

2023年度の条例制定に向けて、(仮称)子どもにやさしいまち条例検討部会を昨年5月から開催しています。検討部会には、大人の委員と一緒に、高校生の堀越さん、大学生の柴田さんも参加しています。お二人にお話を伺いました。



さがまち学生Club  
柴田 初菜さん (大学3年生)

## 検討部会に参加したきっかけは?

さがまち学生Clubという学生団体に参加していて、検討部会の委員を募集しているのを知りました。小学校の教員を目指しており、将来のためにも良い人生経験になると思い、参加しました。



子どもセンターただON子ども委員会  
堀越 彩珠さん (高校1年生)

小学生の時に、子どもセンターただONの子ども委員会に入りました。そこで、副委員長になり、子どもの参画や権利に関心を持つようになったのがきっかけです。

## 実際に参加してみようと思いますか?

普段話す機会がない方々と話したり、意見を聞いたりできるのが、とても面白いです。参加している皆さんが、学生である私たちの話を真剣に聞いてくれるので、緊張しますが毎回楽しみながら参加しています。

自分が住んでいるまちについて、考える良い機会になりました。高校の授業で、町田市について調べたり発表したりしていますが、それだけでは分からない市民の考えや思いを知ることができて良かったです。

## 町田市がどんなまちになって欲しいですか?

子育てや子どもに対してやさしいまち、子育てしやすく、子どもも生活しやすいまちになって欲しいです。子育てに対して「お金がかかる」「大変である」というネガティブな話をよく聞きますが、その大変さをサポートできるようなシステムができると良いと思います。

誰もが住みやすいまちになって欲しいです。これから、海外の人が日本に来ることが増えると思うし、バリアフリーの面などでも、もっと素晴らしいまちになると良いと思います。

今後、パブリックコメントを実施する予定です。詳細は、まちだ子育てサイトHP等でお知らせします。

# 子ども・若者の声 町田の未来へ発進!

問 子ども総務課 ☎724・2876  
児童青少年課 ☎724・4097

子どもたちが、事業や政策などの計画段階から意見を発言するなど主体的に関わる「子どもの参画」は「子どもの権利」のひとつです。市は子ども自身の意見でつくられた「町田市子ども憲章」を「子どもの参画」の原点とし、子ども・若者の声を聞くことを大切にしています。昨年6月～11月に実施したイベントや子どもたちによる条例の周知活動の様子を紹介します。

## シール投票「考えてみよう!子どもの権利」

2022年6月実施



子どもセンター5館で小学生以上の子どもの保護者を対象に、条例の周知及び「子どもの権利」に対する率直な意見を聞くことを目的とし、シール投票を行いました。

## 子ども参画ミーティング「考えてみよう!子どもの権利」

2022年9月実施

中学生から18歳までの子どもたちが、「やさしいまち・若者が活躍するまちってどんなまち?」をテーマに、自分たちが思い描く「子どもにやさしいまち」を考えてみました。

参加者の声・「子どもの権利」が守られるためには、子どもよりも大人の理解が大切だと思う。  
・年齢だけでなく、子どもの成長に応じた支援をすべきだと思う。



## 若者が市長と語る会

2022年11月実施



高校生など若い世代が、自分たちの住んでいるまちの未来や夢・希望などを気軽に市長と語り合う会です。昨年は、子どもセンターで2回開催し、条例をテーマに取り入れ、意見交換を行いました。

参加者の声・趣味が気軽にできるのは、子どもにやさしいことだと思う。  
・夢は社会体験を通して持つので、小・中学生が実際に体験しやすいまちが良い。

## MSP(町田創造プロジェクト)によるポスター作製

町田の魅力を発信し、町田をもっと良くしたい! やってみたいことがあるなど、町田の未来を考えるMSPが条例周知のためのポスターを作製しました。



問 児童青少年課 ☎724・4097



今も未来も大切に  
町田市のSDGs

